

部会名	子ども部会	報告回	令和4年度第1回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎高橋 史	府中市肢体不自由児者父母の会 副会長
	2	○長崎 昌尚	地域生活支援センターみ～な センター長
	3	山口 真佐子	桜美林大学 特任教授
	4	麻生 千恵美	児童デイサービスめろでい 代表
	5	清水 孝子	東京都立府中療育センター 地域療育支援課 地域療育支援主任技術員
	6	渡辺 里江子	府中公共職業安定所 統括職業指導官
	7	佐藤 結希乃	東京都立府中けやきの森学園 教諭
	8	原 綾子	多摩府中保健所 地域保健第一担当 課長代理
※部会長は◎、副部会長は○			
現状	近年、障害児の子育て支援に関するサービスは充実してきている。また共働き世帯の増加に伴い、保護者のニーズも変化しているのが現状である。 適切なサービスを利用しながら親子共々成長できるよう、地域における支援体制や連携の仕方を検討する必要がある。		
検討 テーマ (概要)	障害のある児童およびその家族等が、ライフステージが変化しても切れ目のない支援を受けられるよう、ツールの活用や地域における体制等を協議していく。 (よりよい障害児支援のあり方や関係機関の連携について様々な角度から検討していく。)		
取組 経過	【令和4年度の取組】 各種サービスの充実により親の負担軽減は進んだが、同時に子育てのサービス利用が早期に始まることによって、親子の愛着形成・障害の受容がなされぬまま過ぎていく懸念がある。子どもやその保護者を取り巻く環境等を考慮し、「子ども自身の幸せ」を主体に考えるサービス（親子支援）のあり方とそれを客観的に判断する方法や関わる機関等について幅広く検討し、そこにちゅうファイルの活用機会も見出していく。		
検討 結果	1 現状について <ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児の場合、退院時に訪問看護の導入など調整済となっていることが多い。 ・便利（長時間・送迎付き）で安全（専門家による）なサービスが好まれる。 ・親同士の交流は減り、情報はインターネット等で得ることが多い。 ・親のネグレクト、親の精神疾患等で家族支援が難しい家庭が増えている。 ・医療的ケア児の課題：重症児の支援は充実してきているが、歩ける医ケア児 		

	<p>が通える施設がない。</p> <p>2 課題解決にむけて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期から親子支援がしっかりできる療育につながる。 ・フォーマル・インフォーマル含めて、つながる先の情報の周知。 ・つながるためのサービス（地域の関係機関）、つながる先の案内（家族会や勉強会等の相談先）の提供。 ・つながる際のツールとして「ちゅうファイル」を活用。 ・「ニーズがあるから」というだけでなく、府中市としてどんな子育て障環境にしたいのか、「子育て・親育て・事業所育て」のしっかりとしたビジョンが必要。 									
<p>会議開催状況と内容</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="300 808 437 853"></th> <th data-bbox="437 808 647 853">日程</th> <th data-bbox="647 808 1401 853">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="300 853 437 954">第1回</td> <td data-bbox="437 853 647 954">5月17日</td> <td data-bbox="647 853 1401 954">○各委員が現在感じている障害児支援や子育ての現状と課題について話し合った。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 954 437 1066">第2回</td> <td data-bbox="437 954 647 1066">7月22日 (予定)</td> <td data-bbox="647 954 1401 1066"></td> </tr> </tbody> </table>		日程	内容	第1回	5月17日	○各委員が現在感じている障害児支援や子育ての現状と課題について話し合った。	第2回	7月22日 (予定)	
	日程	内容								
第1回	5月17日	○各委員が現在感じている障害児支援や子育ての現状と課題について話し合った。								
第2回	7月22日 (予定)									